



壬生野小だより

伊賀市立壬生野小学校 2025.9.16



ぜんこくがくりよく・がくしゅうじょうきょうちょうさ けっか 全国学力・学習状況調査の結果から

学校は、どの子にとっても興味深くわかる授業を行うこと、また家庭と連携し、家庭学習の充実を図ることで、子どもたちが確かな学力を身につけることをめざしています。

確かな学力を身につけることは、進路選択を広げ、「夢の実現」につながるとともに、「勉強がわかること」「学力が向上すること」は、子どもたちの自信となり、生き生きとした豊かな人間形成を促します。

1学期、6年生は文部科学省が作成した「全国学力・学習状況調査」を受けました。その結果と今後の取組をお伝えします。

1. 教科の正答率について

教科	結果
国語	全国と比較して、やや下回っている。
算数	全国と比較して、やや下回っている。
理科	全国と比較して、やや下回っている。

※個々の学校の数値は公表できないことになっているため、上記のような表記にさせていただきます。

※以下に各教科の項目別の結果を記載いたします。表の見方は以下の通りです。

表記	結果
◎	全国と比較して上回っている。 全国正答率に対して+5%以上。
○	全国と比較してやや上回っている。 全国正答率に対して+2%以上+5%未満。
—	全国と比較してほぼ同じ。 全国正答率に対して±2%未満。
△	全国と比較してやや下回っている。 全国正答率に対して-2%以上-5%未満。
▲	全国と比較して下回っている。 全国正答率に対して-5%以上。

(1) 国語では

分類	内容	結果
ちしきおよび技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	◎
	情報の扱い方に関する事項	▲
	我が国の言語文化に関する事項	—
思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	▲
	書くこと	△
	読むこと	○

◎特に本校の正答率が高かった事項

出題の趣旨	全国比
学年別漢字配当表に表されている漢字を文の中で正しく使う	+14.6%

▲特に本校の正答率に課題があった事項

出題の趣旨	全国比
目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。	-22.5%
情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。	-13.5%
自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。	-14.1%

(2) 算数では

内容	結果
数と計算	△
図形	△
測定	—
変化と関係	▲
データの活用	△

▲特に本校の正答率に課題があった事項

出題の趣旨	全国比
基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できる。	-10.1%
分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できる。	-13.5%
伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができる。	-21.3%
「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができる。	-17.8%

(3) 理科では

内容	結果
「エネルギー」を柱とする領域	—
「粒子」を柱とする領域	△
「生命」を柱とする領域	△
「地球」を柱とする領域	▲

とく ほんこう せいとうりつ たか じこう
◎特に本校の正答率が高かった事項

しゅつだい しゅし 出題の趣旨	ぜんこくひ 全国比
あかだまつち つぶ おお みず かた ちが けっか もと けつろん みちび 赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、結果を基に結論を導 いた理由を表現することができる。	+16.4%
でんき かいる がた じっけん ほうほう はっそう ひょうげん 電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができる。	+10.9%

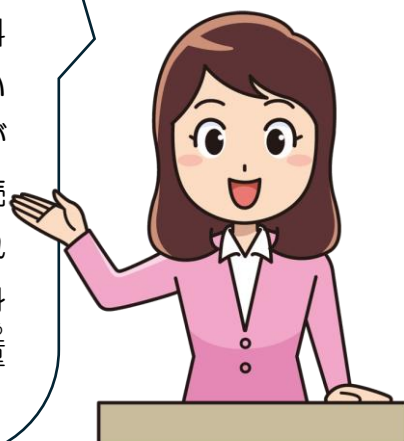
とく ほんこう せいとうりつ かだい じこう
▲特に本校の正答率に課題があった事項

しゅつだい しゅし 出題の趣旨	ぜんこくひ 全国比
あかだまつち つぶ おお みず かた ちが あかだまつち りょう みず 赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、赤玉土の量と水の 量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができる。	-14.1%
はつが ひつよう じょうげん じっけん じょうげん せいげん かいけつ ほうほう はっそう 発芽するために必要な条件について、実験の条件を制限した解決の方法を発想 し、表現することができる。	-12.0%
みず しょうはつ おんど みず じょうたい へんか ちしき もと がいねんてき 水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的 に理解している。	-21.3%
みず けつろ おんど みず じょうたい へんか ちしき もと がいねんてき 水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的 に理解している。	-19.0%
こおり みず うみ なか こんきょ りか がくしゅう 氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したこ とと関連付けて、知識を概念的に理解している。	-10.9%



ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさ けっか ほんこう かだい ぶんせき
全国学力・学習状況調査の結果から、本校の課題を分析しました。
その傾向を見ると、どの教科においても、特定の学年の特定の単元に
課題があるという訳ではありません。例えば算数では、分数についての
問題でも、全国と比較して上回っているものと下回っているものが混在
していますし、理科においても「『地球』を柱とする領域」で同じこと
が言えます。また、問題（解答）形式には選択式・短答式・記述式とあ
りますが、記述式が特に低い正答率ということもありませんでした。

では、正答率に課題があった問題は、どのような問題だったの
かを検証します。国語で「集めた材料の分類・関係付け」「情報
と情報の関係付け」「図などによる語句と語句との関係の表し
方を理解し使う」ことに課題がありましたが、それが算数や理科
にも表れています。問題文の中に、表や図が複雑に入ってい
るものや、問題文が長文であるものに、特に課題が多い傾向が
あります。基本的な部分は理解しているものの、問題自体を読
み切れていない、理解し切れていないのではないかと考えられ
ます。この力については、日常から読書に親しみ、その中で身
につく部分が多いと考えられます。それでは、次の項で「児童
質問紙」の結果を分析していきます。



2. 児童質問紙（アンケート）結果について

1学期末にも全校児童を対象に学校アンケートを実施しましたが、以下に結果を記載するのは、文部科学省が作成し6年生が行った「全国学力・学習状況調査児童質問」の結果です。

(1) 特に本校の児童（6年生）全員が肯定的回答をした事項（強み）

調査項目	肯定的回答
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	100%
人が困っているときは、進んで助けていますか。	100%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いませんか。	100%
人の役に立つ人間になりたいと思いませんか。	100%
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか。	100%

(2) 児童質問紙から見えてくる、日常学習と学力との関連性

調査項目	肯定的回答の全国比
国語の授業の内容はよく分かりますか。	+1.8%
算数の授業の内容はよく分かりますか。	+10.1%
理科の授業の内容はよく分かりますか。	+3.4%

子どもたちは授業の内容は3教科とも理解しているようです。学力調査の結果からも、基礎的な問題については、正答率は全国とほぼ同じか高い結果となっています。

(3) 児童質問紙から見えてくる、日常生活と学力との関連性

調査項目	肯定的回答の全国比
学校の授業以外に、普段1日あたり10分以上読書をしますか。	-7.1%
読書は好きですか。	-12.0%

しかしながら、読書や書物にふれあう時間が、全国と比較すると低い状況にあります。一概には断定できませんが、学力調査の結果分析からも、言語活動の少なさが、問題文を読み解く力に影響していると考えることができます。学校では継続的に「朝の読書」に取り組みますので、ご家庭でも1日10分以上読書をする習慣に、ご協力ください。

(4) 児童質問紙から見えてくる、家庭学習と学力との関連性

調査項目	肯定的回答
学校の授業以外に、平日1日1時間以上勉強しますか。	69.2%
土曜日や日曜日など学校が休みの日、1日1時間以上勉強しますか。	76.9%

ご家庭での家庭学習の時間については、全国と比較して、決して低い数値ではありません。ただし学校としては、6年生（高学年）は1日1時間以上の家庭学習を目標にしています。是非ご家庭でも、宿題と自主学習含め、1日1時間は時間を決めて学習するように、お声かけいただければと思います。